

調査委員会における調査研究報告書

教科名（音楽）

調査研究の観点	所 見	
	発行者（教育出版） 発行者番号（17）	発行者（教育芸術） 発行者番号（27）
1 内 容	○ 歌唱ではコラムに歌声づくりの資料があり、学習に生かすことができる。 ○ 中～高学年の教材で、「旋律の重なり」を扱える教材が少ない。 ○ 4・5・6年生にはスキルアップとして「歌声とリズムのトレーニング」のコーナーがあり、授業でも活用しやすい。 ○ リコーダーの導入指導で、親指の指使いの押さえ方に具体的な明示がない。 ○ 3年生の合奏教材が「へ長調」で書かれており、学習し始めたリコーダーを生かすことが難しい。 ○ 鍵盤ハーモニカの導入時には、指でひかず、口でリズムをとるように指導することがおさえられていてよい。 ○ 3年生の「ミッキーマウスマーチ」が付点と四分音符の交互のリズムになっている。編成が6パート必要で、難易度が若干高い。 ○ わらべうた、世界の子供の歌、郷土の音楽、世界の様々な音楽、日本の伝統音楽等が、発達段階に応じ、鑑賞と表現それぞれで興味深く学習できるように配慮されている。	○ 歌唱では、その曲の特徴や思いを表現するために必要な技能をコラムとして取り上げられている。 ○ 中～高学年の教材で、「旋律の重なり」を意識した二部合唱での提示が多い。 ○ 6年生の教科書では、中学校での学びを視野に入れた部分三部合唱が取り入れられている。 ○ リコーダーの導入指導で、親指の押さえを「指のはら」で押さえると具体的に明示してある。 ○ 3年生の合奏教材がへ長調で、リコーダーが演奏しやすく学年のまとめの教材として適正である。 ○ 3年生の「ミッキーマウスマーチ」が原曲通り付点のリズムになっている。編成が4パートと小編成でも演奏でき、演奏の難易度も低めである。 ○ 4年生「とんひ」でのピンヨロのリズムが、4年生の発達段階に合わせて易しく書き直されている。（楽譜の下に原曲では副付点四分音符で作曲されている旨の表記がある） ○ 「音楽づくり」の教材が充実していて段階に応じておりわかりやすい。また、楽器の奏法などが丁寧に記載され、音楽づくりの方法が順序も示されており、分かりやすい。 ○ 鑑賞では、資料として楽器の写真や音になるしくみが巻末にのっている。 ○ 全学年を通して日本の音楽文化を学べるようになっており低学年がわらべうた、中学年はお囃子、民謡、高学年は日本の伝統音楽が取り上げられている。世界の音楽は高学年で取り上げられている。
2 構成・分量	○ 児童の発達段階に見合わない、やや難しいと思われる教材が多い構成である。 ○ 全学年の巻末に「はく」「フレーズ」「はんぷく」「といと答え」という共通事項の文言がそのままの項目で教科書に提示されていて発達段階に応じた指導が難しい。 ○ 目新しい曲が多く、曲数も多い。 ○ 学習の目標を大きく示し共通事項も明示してある。 ○ 題材構成が、題材課題提示の後にすぐに実践をするものがある。 ○ 児童の実態に応じて、主要部分と選択部分を組み合わせることができ指導の分量を調整できる。	○ 題材構成の流れがわかりやすく、児童の発達段階を考慮している。系統的に学習できるよう学習指導要領の内容を段階的に積み重ね学べるような構成となっている。 ○ 共通事項を基に歌唱、器楽、鑑賞に関連性をもって構成されている。 ○ 文章量が適正で、理解しやすい内容になっている。 ○ 楽譜と絵、写真、文章のバランスがよく、見やすい。 ○ 共通教材は写真、楽譜、歌詞が見開き1ページで見やすい構成となっている。 ○ 各学年とも振り返りのページがあり、まとめに役立てることができる。
3 表記・表現	○ 音楽を表すいろいろな言葉が巻末にあり、児童が音楽を言葉で表す時の参考になる。 ○ 見開きで写真の掲載があり児童の創造性を高めるが、楽譜・歌詞の頁が分かれていて使いづらい。 ○ 低学年に透明シートのページなどがある。 ○ 3年生のリコーダーの運指を示す写真がわかりやすい。 ○ 共通教材で、写真でなく絵で様子が描かれている曲がある。	○ 楽譜と写真で見開き2ページに提示してコンパクトにまとめられている。 ○ 共通事項の文言そのままではなく、学年の発達段階に応じて、かみ砕いた形で教科書に表記されている。 ○ 全体的にすっきりとまとまっていてイラストや写真が見やすい。 ○ 鑑賞教材が旋律をイメージしやすい絵で表示されている。 ○ 題材名からどんな学習をし、どんな力をつけるのかが分かりやすい。また表記の仕方も色や文字の大きさで分かりやすく示されている。 ○ 挿絵が親しみやすく、色づかいも優しいものが多い。 ○ 学習内容としておさえたい部分が大きく書かれ、他にもカラーで目を引くような表記がされている。
4 使用上の便宜	○ 目安となる「音楽のもと」について例示されている。 ○ 4年「さくらさくら」の題材では、さくらの美しさを感じる表記になっている。 ○ 見開きに有名音楽家からのメッセージが写真とともに載っている。 ○ リコーダー運指が巻末の折り込みページにあり、楽譜と運指を見比べながら学習できる。 ○ 3年生のリコーダーでの旋律作成は、習い始めたばかりで指導が難しい。	○ 巻末の「ふり返りのページ」で共通事項について具体的な教材が例示されていてわかりやすい。 ○ 4年「さくらさくら」では、日本語の美しさや日本の旋律のよさを感じ取れるようになっている。 ○ 巻末に鑑賞教材の中から代表的な作曲家が「音楽の歴史をつくった人」として紹介されている。 ○ 折り込み資料などなく、児童がページを開きやすく扱い易い。 ○ 題材ごとに番号をふったり、教科書に縦書きに大きく書かれたりと、題材のまとまりが分かりやすい。 ○ 題材の目標や学習活動がひとめで分かるよう右頁端に色分けして明記されている。 ○ キャラクターの吹き出しは活動のヒントとなっており、吹き出しをもとに活動を発展させることができる。